

県内の少年非行(平成30年3月末)

兵庫県警察本部少年課

注: 数値は、平成29年は確定値、平成30年は暫定値である。

1 県内の非行少年等の概況

平成30年3月末、県内で検挙・補導した非行少年(犯罪少年、触法少年及びぐ犯少年の総称)は485人で前年同期(487人)に比べて2人(0.4パーセント)減少、不良行為少年は3,930人で、前年同期(7,010人)に比べて3,080人(43.9パーセント)減少している。

区分	年別	平成30年	平成29年	増減		
		3月末	3月末	人員	率(%)	
非 行 少 年	刑 法 犯	犯罪少年	374	370	4	1.1
		触法少年	111	117	-6	-5.1
		計	485	487	-2	-0.4
	特 別 法 犯	犯罪少年	50	50		
		触法少年	17	19	-2	-10.5
		計	67	69	-2	-2.9
	ぐ犯少年	35	29	6	20.7	
	合 計	587	585	2	0.3	
	不良行為少年	3,930	7,010	-3,080	-43.9	

2 刑法犯少年包括罪種別の状況

区分	年別	平成30年	平成29年	増減	
		3月末	3月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
刑 法 犯 少 年		485	487	-2	-0.4
凶 悪 犯		1	4	-3	-75.0
粗 暴 犯		66	75	-9	-12.0
窃 盗 犯		291	286	5	1.7
知 能 犯		18	6	12	200.0
風 俗 犯		8	13	-5	-38.5
そ の 他		101	103	-2	-1.9
う ち 占 離		40	51	-11	-21.6

3 刑法犯少年学職別の状況

区分	年別	平成30年	平成29年	増減	
		3月末	3月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
総 数		485	487	-2	-0.4
未 就 学 生					
小 学 生		39	47	-8	-17.0
中 学 生		166	191	-25	-13.1
高 校 生		156	141	15	10.6
そ の 他 学 生		22	13	9	69.2
有 職		66	65	1	1.5
無 職		36	30	6	20.0

4 初発型非行の状況

区分	年別	平成30年	平成29年	増減	
		3月末	3月末	人員	率(%)
		構成比(%)	構成比(%)		
総 数		265	278	-13	-4.7
万 引 き		140	123	17	13.8
オ ー ト バ イ 盗		25	28	-3	-10.7
自 転 車 盗		60	76	-16	-21.1
占 有 離 脱 物 横 領		40	51	-11	-21.6
刑法犯少年に占める率(%)		54.6	57.1	-2.5	ポイント

※ 少年非行のその他の特徴

- 全刑法犯検挙・補導人員の15.3パーセント(前年同期比-0.8ポイント)を少年が占めている。
- 刑法犯少年のうち窃盗犯が最も多く、全体の60.0パーセントを占め、次いで粗暴犯の13.6パーセントとなっている。
- 不良行為少年では、喫煙(2,465人)と深夜はいかい(952人)が全体の86.9パーセントを占めている。